

◆**日時** 12月10日(日)
午前10時～正午

◆**場所** 改善センター

◆**料金** 100円

◆**持ち物** 持ち帰り用袋、上靴、エプロン

◆**申込期限** 11月30日(木)

◆**申込先・問い合わせ**
カルチャープラザ ☎33333

親子もちつきの集い

昔ながらの杓と臼を使ってもちつきを体験します。自分で丸めたお餅は持ち帰れます。

◆**問い合わせ**
社会教育課 ☎1117

◆**日時** (雨天中止)
11月12日(日) 午前9時～正午

◆**場所** ハサンベツ里山

◆**対象** 子どもから大人まで(小学3年生以下は保護者同伴)

◆**内容** 倒木処理、小川の改修

◆**持ち物・服装**
汚れてもいい服装、長靴、軍手、帽子、タオル、飲み物など

毎月第2日曜日は ハサンベツ里山の日

今年最後の作業日となります。みなさんぜひご参加ください。

笑顔あふれる大会となりました!

第2回 くりやまハーフマラソン

栗山町生涯学習情報

2ナビィ

栗山町教育委員会
総合福祉センター「しゃるる」
TEL72-1117 FAX72-6522

スポーツセンター 月曜日開館のお知らせ

スポーツセンター休館日の月曜日を11月から開館します。

◆**期** アリーナのほか、ウォーキング・ランニングコースやトレーニングルームの利用も可能です。

◆**時間** 11月～4月まで
午前9時～午後9時

◆**問い合わせ**
スポーツセンター ☎6161

第42回全町 ミニバレーボール大会

男女別による6人制ミニバレーボール大会を開催します。

◆**日時** 12月10日(日) 午前9時～

◆**場所** スポーツセンター

◆**対象** 町内会、自治会、企業単位、介護学生で構成したチーム

◆**申込方法** 各町内会・自治会に送付する申込用紙を提出

◆**申込期間** 11月20日(月)～12月1日(金)

◆**問い合わせ**
スポーツセンター ☎6161



10月8日、第2回目となる「くりやまハーフマラソン」が開催され、道内外から1,118人がエントリーし、ランナーたちは栗山町の豊かな田園風景を眺めながら自己ベストを目指して汗を流しました。心地よい秋晴れの下、笑顔のあふれる大会となりました。



▲当日の様子は町のホームページでもご覧になれます。



冬季閉鎖 スポーツ施設

栗山ダム・御園パークゴルフ場、ふじスポーツ広場、総合グラウンド、運動公園、栗夢広場、町民球場、栗山公園球場を11月4日(土)から閉鎖します。なお、天候状況により早く閉鎖する場合があります。

令和6年 栗山町「はたちのつどい」

◆**日時** 令和6年1月7日(日)
午後2時～4時

◆**場所** カルチャープラザ
(午後1時受付開始)

◆**対象** 平成15年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた方(町内在住の対象者には案内状を送付)

※町外在住の参加希望者は社会教育課にご連絡ください。

◆**問い合わせ**
社会教育課 ☎1117

対象者が実行委員となり、式典に向けて活動中です。



詳しくはこちらからご覧ください。

勤労青年国内研修 参加者募集



姉妹都市の宮城県角田市をはじめ他の都市も訪問し、視察・交流を通して、今後のまちづくり活動に活かすことや、地域活動の指導者を養成することを目的に研修を行います。

◆**日程** 令和6年2月9日(金)～11日(日)

◆**場所** 宮城県角田市 他

◆**対象** 町内在住もしくは町内事業所に勤務している20～40歳の勤労青年

◆**定員** 若干名

◆**負担金** 2万円

◆**申込期限** 11月15日(水)

◆**申込先・問い合わせ**
社会教育課 ☎1117

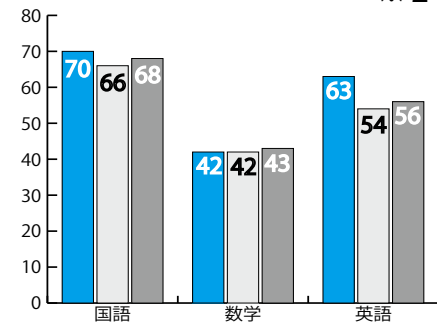


※2 【国語】文章を読んで理解したことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりできる。

【数学】反比例の意味を理解しているかどうかをみる。

【英語】社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができる。

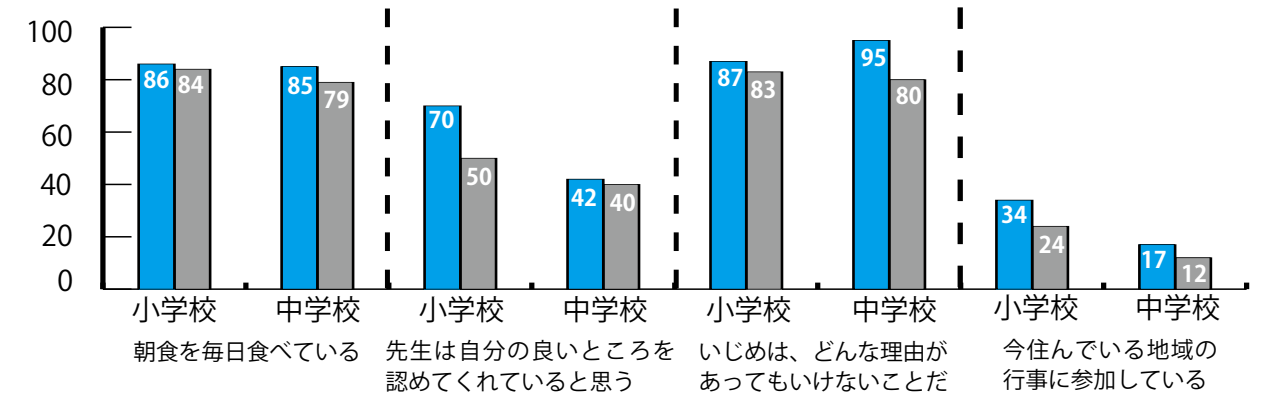
【図4】中学校の特徴的な傾向(%) ※2



中学校で出題された設問で特徴的な傾向【図4】
国語では「文章を読んで理解したことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりできる」が全道・全国の平均を上回っており、「自主性を大切にする学習」に取り組んできた成果といえます。
数学では「反比例の意味を理解しているかどうかをみる」が全国平均に近い状況でしたが、他の設問は下回ったことから、苦手分野の克服が課題であるといえます。
英語では「社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができる」が全国の正答率より7%も高い結果となり、英文を読み取る力が着実に付いてきている様子がうかがえます。

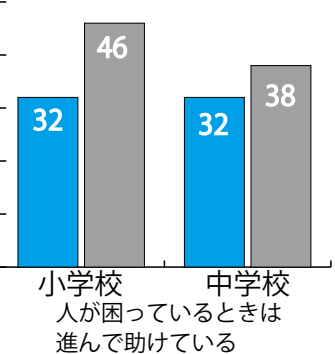
生活に関する意識について
生活に関する意識調査は、「肯定」「やや肯定」「やや否定」「否定」の4段階から回答します。今回は、「肯定」を選択した割合を全国平均と比較しています。
栗山町と全国の比較【図5・6】
「朝食を毎日食べている」は、小学校で2%、中学校で6%高くなっています。
「先生は、自分の良いところを認めてくれていると思う」は、小学校で20%、中学校で2%高い結果でした。特に小学校において、教師と児童との信頼関係の醸成が進んでいる様子がうかがえます。
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」は、小学校で4%、中学校では15%高くなっています。生徒会を中心にして毎年実施している「いじめ撲滅集会」などを通して、意識の向上が図られている様子がうかがえます。
「今住んでいる地域の行事に参加している」は、小学校で10%、中学校で5%高くなっており、地域と学校が一体的に取り組んでいる成果と言えます。

【図5】全国より割合が高い項目(%)

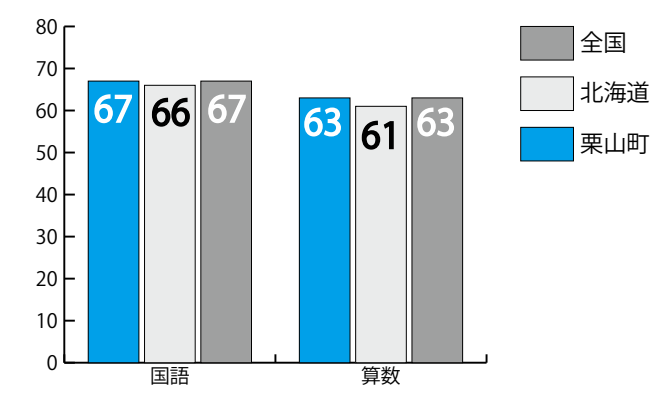


一方で全国に比べて割合が一番低かった項目は、小中共に「人が困っているときは、進んで助けている」です。これは優しさの欠如などに起因するものではなく、「勇気をもって一歩を踏み出せない」ことが第一の理由となつていきます。これは学力とも無縁ではなく、「学び合い高め合う授業」の積み重ねの中で自己肯定感や自己有用感を育んでいく必要があります。
栗山町で育ち、栗山の学校で学ぶ子供たちは、『ふるさと栗山』を通して、生きるために必要な資質や能力を習得し、活用する技術を身に付けていきます。これらも栗山の全ての子供たちに対して学力だけではなく、体力や道徳性を含めた「生きる力」をバランスよく育んでいけるよう努めます。

【図6】全国より割合が低い項目(%)

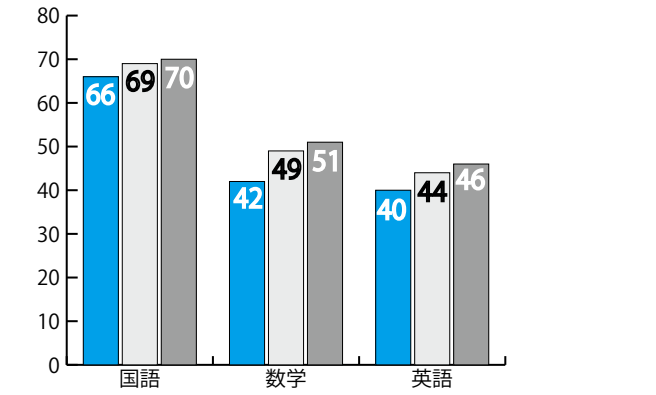


【図1】小学6年生の正答率(%)



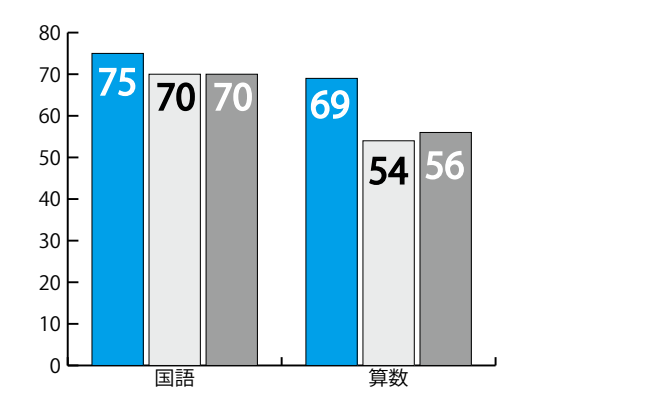
本調査は、「学習の理解度」や「生活に関する意識」を把握・分析し、課題の改善に活かすことなどを目的に、小学6年生と中学3年生を対象に毎年実施しています。
今年度は国語と算数・数学の他、中学校で英語が実施されました。
学習の理解度について
小学校の平均正答率【図1】
国語は全道の平均を1%、算数は2%上回り、全国と同率の結果となりました。

【図2】中学3年生の正答率(%)



国語・算数共に全国水準にあり、理解できていると言えます。
中学校の平均正答率【図2】
どの科目も全道・全国平均を下回り、今まで積み上げてきた学習の成果を十分に発揮しきれなかった結果となりました。
小学校で出題された設問で特徴的な傾向【図3】
国語では、「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる」が全道・全国に比べて正答率が5%高くなっています。

【図3】小学校の特徴的な傾向(%) ※1



また、算数では、「示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述できる」の正答率が全道・全国を大きく上回っており、理解度の高さがうかがえます。
町内の各小学校では、今回の調査結果を参考にしながら、自校の成果や課題について分析・検証を行い、一層、個に対応した授業改善に向けて計画的・継続的な取組を進めています。

※1 【国語】目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。

【算数】示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述できる。